

地域の魅力発信セミナー(第20回駐日外交団の地方視察ツアー)

平成28年5月23日、外務省と横須賀市との共催により、駐日外交団から19か国計29名が参加を得て、横須賀市の研究施設や観光施設、歴史施設等への視察を実施しました。

海洋研究開発機構(JAMSTEC)を訪問した外交団は、有人潜水調査船「しんかい6500」に加えて、今春完成したばかりの海底広域研究船「かいめい」の船内を見学しました。最新鋭の設備と航行の安全を祈念する神棚を備えたコックピットでは、船長席に座り記念撮影をする外交団もいました。

観音崎京急ホテルで行われたレセプションでは、海軍カレーや三浦野菜などの地域の食材を活かした料理に加え、横須賀市長自ら挨拶を行い、外交団を歓迎しました。横須賀市立総合高校の生徒3人が、制服に同市の名物「スカジャン」を羽織り、英語で市の魅力のPRを行ったほか、市に関するクイズを出して会場を盛り上げました。スカジャンが現在海外セレブに愛されていることや、ガリバーが観音崎に上陸していたことなど、意外な事実で驚く外交団の姿も見られました。

くりはま花の国では、フラワートレインと呼ばれる蒸気機関型のバスに乗り、巨大なゴジラの滑り台のあるアスレチック広場まで上った後に、ちょうど見頃を迎えた色とりどりのポピー園を歩きました。

横須賀港に停泊する米国海軍及び海上自衛隊の艦船を見学するクルーズ「YOKOSUKA軍港めぐり」では、心地よい海風を受けながら日米両国の艦船を見られる貴重な機会に、外交団はしきりにシャッターを切っていました。

記念艦「三笠」では、旧日本海軍戦艦・三笠にまつわる映像を鑑賞した後、外交団は二手に分かれ、艦の設備や調度品、当時の歴史背景について説明を受けました。

最後に訪れたよこすかポートマーケットでは、地元の牛乳や果物を使用したジェラートがふるまわれ、一日の疲れを癒やしました。また、地元の海の幸や海軍カレーをはじめとする横須賀土産を買い込む外交団の姿も見られました。

平成 28年5月
地方連携推進室



海底広域研究船
「かいめい」前にて



横須賀総合高校の
高校生によるプレゼンテーション



YOKOSUKA
軍港めぐりにて

共催の自治体からは「普段会うことのできない大使をはじめとする外交団の皆さんに横須賀市の魅力を直接PRできてよい機会だった」との感謝をいただきました。

外交団からは「日本は地域により多様性のある国であり、今回横須賀を訪問できたことは有意義だった」「ホスピタリティの高さが際立った」との声がありました。

ツアーの様子は当日夕方のNHKニュースでも報道されました。

【プログラム】

- 海洋研究開発機構(JAMSTEC)
- 意見交換会(観音崎京急ホテル)
- くりはま花の国
- YOKOSUKA軍港めぐり
- 記念艦「三笠」
- よこすかポートマーケット